

陳 述 書

作成日 平成 年 月 日

申立人（債務者）氏名 甲 野 太 郎 印

私は、私の破産手続開始・免責許可申立事件について、以下のとおり陳述します
(を付した項は、該当するものに ✓ を付す。)

1 経歴等

(1) 最終学歴

(54) 年 (3) 月 (鳥取県立 鳥取北高校) 卒業・中退

(2) 最終学歴後の職歴（現在の職業は(3)に記載する。）

就職年月	退職等年月	勤務先名・職種等	
54 . 4 .	63 . 3 .	株式会社東町産業	運転手
63 . 4 .	14 . 12 .	有限会社東町商店	経理事務

(3) 現在の職業

ない。

ある（下記のとおり）。

会社等名	職種・役職	勤続年数	賃金月額	賞与（年間）
有限会社東町工業	現場監督	7月	21万5000円	約30万円

(4) 上記(3)以外の、申立人のその他の収入（年金，手当，養育料など）

ない。

ある（種類及び1か月当たりの金額を記載する。）。

〔 児童手当 1万円
生活保護 6万5000円 〕

2 家族等の状況

(1) 配偶者（内縁や別居も含む。）、同居の親族

続柄	氏名	年齢	職業・学年	収入の種類と月額
妻	甲野花子	40	無職	失業手当 3万円
二男	二郎	9	小学3年	なし
三男	三郎	6	幼稚園年長	なし
義父	丙田四郎	75	無職	国民年金 4万円

「収入」欄は、収入の種類（給料、年金、公的扶助等）と月額を記載する。

(2) 申立人と同じ家計で生活している者

ア 上記(1)「配偶者、同居の親族」欄に記載の者

全員

一部（氏名 _____）

イ 上記(1)「配偶者、同居の親族」欄に記載した以外の者（親族でない同居人、扶養している別居親族など）

ない。

ある（次の者がいる。）。

関係	氏名	年齢	職業・学年	収入（月収）
長男	甲野一郎	19	大学1年	なし

「収入」欄は、収入の種類（給料、年金、公的扶助等）と月額を記載する。

(3) 申立人、家族等に関する特記事項（健康状態等）

義父丙田四郎は昨年12月に脳梗塞で倒れ、右半身不随となって入院中である。回復の見込みはない。その他の者については特になし。

3 申立人の生活状況

(1) 現在の住居の状況

自己所有の家屋 親族（親族名：_____）所有の家屋（無償）

借家・賃貸マンション・**アパート**

その他

(2) 申立人とその家族等の家計の1か月の支出

費 目	金 額	費 目	金 額
食 費	9万円	保険・積立	2万5000円
家 賃	5万5000円	ガソリン代	1万円
電気, ガス, 水道料金	2万円	たばこ代	5000円
教 育 費	10万円	電 話 代	1万円
医 療 費	4万円	雑 費	5000円
合計月額		36万	円

(3) その他特記事項（親族からの援助の可能性等）

私の母は高齢で年金収入しかなく、援助は無理です。私の父と妻の母は既に亡くなっています。兄弟姉妹からは、これまでも相当額の援助を受けており、これ以上の援助は望めません。

4 申立人の資産状況

現在の資産は、別添財産目録記載のとおり。

(1) これまでに誰かの相続人になったことは、 ない。

ある（その内容は次のとおり）。

被相続人の氏名・続柄	相続で取得した資産
甲 野 重 蔵 ・ 父	1 不動産 鳥取市湖山町北三丁目251番地の 宅地及び居宅 （ただし、共有持分10分の1） 2 郵便貯金 20万円 （借金返済に全額使用）

(2) 最近1年以内に退職したことは、
ない。

ある。退職した勤務先（ **有限会社東町商店** ）
その際、支給された退職金は、
なかった。

金（ **100万** ）円だった（支給明細書等を添付）。

(3) 現在の勤務先に退職金制度は
ない。

ある。
かりに、現在退職したと仮定した場合、支給される見込みの退職金は
ない。

約（ **15万** ）円と見込まれる。

この問いは、現実に退職することを命令するものではなく、単に、現在
仕事を辞めたと仮定した場合の理論上の退職金支給額を尋ねるだけです。

(4) 最近1年以内に処分した資産（不動産、高価な動産等）は、
ない。

ある（処分の内容は次のとおり）。

処分した資産	処分の相手	処分の年月日	代金等の額
腕時計（ロレックス）	丁本五郎 （友人）	15. 3.28	15万円
プラズマテレビ	丁川二郎 （友人）	15. 5.12	5万円

(5) 最近1年以内に離婚又は離縁したことは、

ない。

ある。平成（ ）年（ ）月（ ）日
その際に財産分与や慰謝料等の財産を受けたことは、
ない。

ある（次の財産を受けた。）。

[]

5 申立人の負債の状況

現在の負債状況は、別添債権者一覧表記載のとおり。

- (1) 破産手続開始申立てに至った事情はつぎのとおりである（借金等ができたきっかけや負債が増加した経緯などを具体的に記載する。）。

昭和62年ころ、ローンで500万円くらいの自動車を購入しました。その車はすぐに事故で廃車にしてしまい、また300万円くらいの自動車を購入しました。これらのローンを払っていたのですが、事故のため昭和63年に転職せざるを得なくなって給料が減った上、景気も悪くなってさらに給料が減り、支払が滞るようになりました。その後は、子供も成長して教育資金が必要になるなど、生活費にも事欠くようになり、借金が雪だるま式に増えてしまいました。

- (2) 借金等の当時返済できる見込みが、
なかった。

あった（返済方法、返済計画等を具体的に記載する。）。

車のローンは、利息込みで1100万円ほどになりましたが、毎月の給料は約60万円あり、夫婦二人と子供一人との生活費約25万円を除いても毎月30万円は返済することができ、3年程度で完済できる予定でした。事故は自損事故でしたので、損害賠償の必要はありませんでした。

- (3) 借金等の返済ができなくなった事情

酒気帯び運転での事故であったため、運転手の仕事を続けることができなくなり、会社にも居づらくなったため転職せざるを得なくなりました。転職先での給料は毎月約30万円しかなく、たちまち車のローンの支払いができなくなりました。生活費を切り詰めて毎月10万円ずつ返済していたのですが、返済まで10年かかるため、次第に我慢できなくなり、パチンコや競馬に手を出し、さらに返済ができなくなって行きました。

- (4) 借金等を完済するのは無理だと思ようになった時期は、
平成（ 17 ）年（ 1 ）月ころである。

6 現在，債権者との間での裁判，差押え等は，
ない。

ある（次の裁判等がある。）。

相手方（債権者）	裁判所名	事件の内容（差押え，支払督促，訴訟，調停など）
信販株式会社	鳥取地方裁判所	給料の差押え （平成13年(ル)第1000号）

7 自分の財産を手元に残すために隠したり，また，壊したり，安く売却したりしたことは，
ない。

ある（その内容は次のとおり）。

2台目の自動車は，信販会社から返還を求められたため，平成元年ころ，中古車販売業者に2万円で売ってしまいました。

8 ぜいたく品を購入したことは，
ない。

ある（次のものを購入した。）。

購入年月日	購入したもの	購入金額	購入品の保管，処分状況
8.3月ころ	ピアノ	15万円	業者に売却
15.1.31	腕時計（ロックス）	60万円	丁本五郎（友人）に売却
15.3.10	プラズマテレビ	30万円	丁川二郎（友人）に売却

9 競馬，競輪，パチンコ等のギャンブルにお金を使ったことは，
ない。

ある（次のとおり使った。）。

ギャンブルの内容	期間（年月～年月）	月平均回数	月平均使用金額
パチンコ	平成 3.10 ～ 15.4	4 回	4万 円
競馬	平成 4. 5 ～ 15.4	2	5万

10 スナック等での飲食，旅行その他遊興にお金を使ったことは，
ない。

ある（次のとおり使った。）。

遊 び の 内 容	期 間（ 年 月 ~ 年 月）	月平均回数	月平均使用金額
ハワイ旅行	平成15. 2 ~	回	20万 円

11 借金等の申込みを断られたことは，
ない。

ある（次のとおり断られた。）。

申込みの内容	時 期（ 年 月）	申込みの相手	断られた理由
金銭の借入れ	平成15. 4	金融株式会 社	限度枠超過

12 借金等の申込みの際に，住所，氏名，生年月日，収入状況，負債状況等を偽ったことは，

ない。

ある（その内容は次のとおり）。

時 期（ 年 月）	申込みの相手	偽りの内容

13 関連事件等

(1) 過去に，破産免責手続を利用して，免責の決定を受けたことが，
ない。

ある。 昭和・平成 ____ 年 ____ 月 ____ 日 免責決定
裁判所名： ____ 地方裁判所 ____ 支部
免責事件の事件番号：平成 ____ 年（モ）第 ____ 号
破産事件の事件番号：平成 ____ 年（フ）第 ____ 号

(2) 給与所得者等再生による再生手続を利用して再生計画が認められ、その再生計画に定められた弁済を終了したことが、

ない。

ある。平成____年____月____日 再生計画認可決定

裁判所名：_____地方裁判所____支部

事件番号：平成____年（再口）第_____号

再生計画に定めた弁済の終了：平成____年____月____日

(3) 再生手続を利用して再生計画が認められたが、その再生計画による弁済を行っている途中で、弁済を続けることが極めて困難となり、再生手続による免責（ハードシップ免責）の決定を受けたことが、

ない。

ある。平成____年____月____日 再生計画認可決定

裁判所名：_____地方裁判所____支部

再生事件の事件番号：平成____年（再イ・ロ）第_____号

免責事件の事件番号：平成____年（モ）第_____号

【以下は個人で事業を営んでいた人のみ記載】

14 商品をダンピングしたことは、

ない。

ある（その内容は次のとおり）。

商 品 名	時 期（年 月）	時 価（通常価格）からの割引率等

15 営業中の商業帳簿は、

記帳していなかった。

記帳していた。帳簿の名称（_____）

16 税金申告の方式

青色申告

白色申告

申告したことがない。

以 上